

証人採用決まる！

パイロット裁判当面2名、 客室乗務員裁判4名



5月23日（パイロット裁判）と31日（客室乗務員裁判）に東京高裁で三

勝利判決目指して更なる 運動の拡大にご協力を！



発行責任者
柚木康子
大田区羽田
4-10-4
石井ビル3階
TEL03(6423)7878
FAX03(6423)7430
e-mail
sasaerukai@
lemon.plala.
or.jp

客室乗務員の裁判では、5名の証人採用申請のうち、1名（醍醐教授）は却下、残り4名は採用と決まりました。証人は、深田CCU副委員長（不当労働行為）、小栗CCU副書記長・原告（人員体制）、原告から久保田さん（解雇による不利益）と大森さん（人選基準）です。

原告団团长（不当労働行為）と三星乗員組合副委員長（人員体制）が採用、他の5名については2名の証言を聞いてから必要かどうか判断することになりました。

おいては、7名の証人の採用を求めていました。が、山口

回目の口頭弁論が行われ、裁判所から証人の採否について言い渡されました。パイロット裁判に



パイロット裁判は追って期日の指定（5月23日現在）となり、客室乗務員裁判は9月12日（木）10時～16時30分昼休みを除く5時間で101号法廷で行われます。一人でも多くの傍聴参加をお願いします。

高等裁判所において証人を採用させることは非常に難しいと言われていた中で、これだけの証人を採用させることができただのは、裁判所に対する要請はがきの取り組みや、5・15霞が関大行動への参加、大量の請願書提出

等、皆様のご支援によるものです。勝利判決を勝ち取る為に毎月の定例宣伝行動ははじめ各種の取り組みへの更なるご参加をお願いします。

特に10月25日には文京シビックホール（定員1800名）にて18時から大集会（名称未定）を予定しています。ぜひ全国からの参加をお願いします！

3回目の口頭弁論では、両裁判とも原告弁護団より弁論更新に当たって意見陳述（交代した裁判官に裁判の内容を伝えるための陳述）を行いました。

この裁判について非常に端的にわかりやすくまとめられています。支える会HPにアップしておりますので、是非ご一読ください。HP（ホームページ）へアクセスができませんの方は支える会事務局までご連絡下さい。郵送でお送りいたします。

5・15霞が関大行動 裁判所前にたくさんの人と旗が翻る



労働事件に対して不当な判決が相次いでいる中で、けんり総行動実行委員会と東京争議団共闘会議によって、「首切り自由を許さない」との一点共闘で実行委員会が結成され、100を超える個人・団体の賛同を受けて、5月15日に東京裁判所を包囲する大行動が行われました。

裁判所前には700名を超える参加者が集

まり12時10分〜13時まで街頭宣伝を行いました。汗ばむほどの好天気の中、数多くの旗が翻り、裁判所に対して「首切り自由を許さないぞ！」と声を挙げました。

同時に行われた個人請願では、地裁に対し2308枚、高裁に対し約2415枚の請願書が提出されました。

裁判所前行動の前後で各争議団による独自宣伝要請行動が行われました。

JAL原告団は国土交通省前と厚生労働省前で宣伝行動を行い、それぞれ300名、250名もの参加者を迎えることができました。

この行動に対し、支える会の会員の方にメールで呼びかけ、請願書のダ

ウンロードと送付をお願いしました。各裁判所宛てにそれぞれ約220枚の請願書が届き、事務局が代理で提出させていただきました。ご協力本当にありがとうございました。

九州キャラバン 563kmを走破



5月13日〜17日に鹿児島〜博多にかけて「JAL不当解雇撤回をめざす九州キャラバン」が実施され、原告から5名が参加しました（総走行距離563キロ）。各地区の

愛媛新聞（4月5日付朝刊）の投稿欄に二人の原告の活躍が載りました！

現役乗務員も解雇されたベテラン乗務員が職場に復帰することを強く望んでいます！

年齢が理由の整理解雇疑問

松山市 重見 幸春(62)

◇先日、屋外での春かも自信はない。

って知人の心肺は蘇生した。機敏な処置のためか、知人の容体は好転している。

関集会中に知人が心筋梗塞で突然倒れた。私を手幅で位置を確認しは携帯で救急車の手配をしたが、消防隊員のは、日本航空を整理矢継ぎ早な質問と指示にとまどうばかりだった。呼吸はしてしました。「呼吸はしてしました。集会に参加すか」「心肺停止ならして2人と連携心臓マッサージを「そして、自動体外式除細動器(AED)による処」との指示などを周りに十分伝えられたかどうか到着した救急隊員によ

(無職)

元国労闘争団（鹿児島、宮崎、大分、八幡、博多）のご案内で、県労連、平和センター、国労各地本のご協力をいただき、13日鹿児島、14日宮崎、15日大分、16日北九州、17日博多と回りました。

各地で労組・政党・自治体等への支援要請と主要駅での街頭宣伝を行い、夕刻には闘争報告集会、その後は交流会まで開催していただき支援を訴えました。集会参加者は合計約177名、支援要請に伺った労組等は約70か所でした。今後も各地域でのキャラバンが計画される予定です。

～福岡・熊本・佐賀・長崎～「支える会」支援要請行動 報告

4月17日～19日、「支える会」の会員拡大を中心とした支援要請を行いました。事務局から藤田（長崎市出身）が参加し、この要請行動を計画して下さった金澤国民支援共闘会議共同代表が同行くださいました。

三日間で「20の団体」と「4つの集会」で現状報告と支援要請をすることができました。

要請行動に先立つ16日夕刻、大牟田駅に私たちを出迎えて下さったのは、今回の要請行動の実現にご尽力くださった元国労熊本闘争団の牛島



氏。24年間の厳しい争闘を闘ってこられた元国労熊本闘争団の皆さんとの交流会では、「家族との絆」「仲間との連帯」の大切さが話題の中心となり、ひとつひとつの言葉が胸に響きました。

一日目（17日）は、牛島氏のご案内で、教職員組合大牟田支部、大牟田市、みやま市の職員労働組合、など5団体を訪問。夜には熊本県荒尾市での「JAL不当解雇撤回闘争 荒尾地区報告集会」。30名ほどの集会は、既に各地で活動している「支

える会」の現状に関する質問も出されるなど熱気あふれるものでした。

二日目（18日）早朝、元鳥栖闘争団の原田氏の運転で佐賀へ移動。途中、立ち寄った三池炭鉱三川坑跡では歴史に名を残す闘いをされた炭鉱労働者に思いを馳せ、柳川では水路と白壁の街の景観に癒されました。「争議団の日々は本当に大変だ。息抜きも必要ですよ」と、自らも厳しい日々を体験された方ならではの有り難いお心遣いでした。

佐賀市到着後は、元鳥栖闘争団の永松氏のご案内で、国労佐賀地区本部から始まり、市職員労働組合、教職員組合、水道労組、県職員労働組合などで支援要請。最後にお訪ねした清掃事務所では、仕事を終えた20人ほどの組合員さんが話を聞くために待っていて下さり、



驚くやら感激するやら。18時～「佐賀市職員労働組合」学習会では約100名を前に訴え。若い組合員さんが多かったこともあり、あれもこれも聞いて欲しいと欲張りすぎ持ち時間を超えそうになりましたが、皆さん熱心に耳を傾けて下さいました。

19時～「JAL闘争報告集会」と交流会。金澤共同代表からの労働界をめぐる情勢のお話に続き、自分の意志とは関係なく人生が決められる事の無念さなど原告としての思

いも聞いていただきながら支援のお願いをしました。

三日目（19日）は元鳥栖闘争団の南里氏、元佐世保闘争団の速見氏が加わって下さり、佐世保市役所職員組合、県職員組合佐世保支部など9団体を訪問、支援要請をすることが出来ました。更にその日の夜に予定されていた地区労主催「憲法学習会」では、突然のお願いだったにもかかわらず山口議長のご厚意で、訴えをさせていただきました。

多くの方のご協力のもと、九州での支援要請行動を終えることができ、感謝の気持ちでいっぱいです。そして更に支える会の会員を広げるためにも、一人でも多くの方々に不当解雇の事実を知っていただかなくてはその思いを強くしていきます。

原告団の紹介



副団長・飯田 祐三(北海道出身)
道を飛ぶことを飛ぶことしか知らないうちから

日本航空の経営は操縦桿を奪い取りました。それは労働者の生き甲斐を奪い取った瞬間であり、人生を蔑ろにした瞬間でした。そしてそれは人間としての尊厳を蹂躪した瞬間でした。全力で走り続けている私は今、同時に、働くことの意味、充実した人生とは何か、を考えています。ご理解、支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。



中田 弥生(茨城県出身)
15年前から実家のある茨城県に住みついてい

ます。解雇される10年前から部分就労というパートに切り替えて、定年まで働くこと思っていたので、人生設計がまるで狂ってしま

ました。許せません。



小森 啓子(京都府出身)
更生会社になったのを名目に33年続

いた大阪基地を潰されて東京に転勤させられ、また半年後に整理解雇されました。納得が出来ません！一生懸命働く一労働者が泣く事のない社会でなければと頑張っています。



堀内せい子(新潟県出身)
1974年入社。女性であつても60歳定年

まで勤められる職場になったことに誇りを持ち、自分も、と思っていました。年齢を理由にしたこんな解雇は納得できません。ご支援よろしくお願い致します。



堀田 国子(東京都大田区出身)
小学生の時、羽田空港で、

飛行機の発着を間近に見て以来、空の虜になり、客室乗務員の仕事を志しました。32年間の乗務は自分が納得した形で終わりたいと思います。この裁判で年齢差別、組合差別等々基本的人権を質したいと思ひます。



白井 佳代子(埼玉県出身)
神奈川在住) 三人の子育てをしながら、

幾つもの危機を乗り越えて守り続けた大好きな仕事を、理不尽な人選基準により奪われました。もう一度あの空へ帰るために諦めずに取り組んでいきます。温かいご支援に感謝いたします。



和波 宏明(横浜市出身)
747・400の機長です。現在、上海の貨物

航空会社で出稼ぎしながら原告と組合執行委員と産別役員をしているのですが、

意外と続けられるものですね。多くの方に支えられて感謝の毎日です。



長坂 晶(群馬県出身)
79年3月日本航空にフライトエンジニア

ニアとして入社し、約10年飛んだ後に、副操縦士になりました。一番の思い出は、初めて見たオーロラが、虹のカーテンのように光り輝き、美しかったことです。



近村 一也(神奈川県横浜出身)
82年に入社、航空機関士を経てパイロットにな

り、いよいよ機長になる訓練を目前に解雇されました。御巣鷹事故を経験した者として、絶対安全の確立と人の尊厳を守るために闘います。ご支援よろしくお願ひします。



《今後の日程》

6月19日

株主総会宣伝行動

8時30分〜九段下交差点
地下鉄1番出口付近

銀座デモ11時30分〜水谷
橋公園集合、日比谷公園
まで

6月26日

JAL本社前宣伝行動

10時〜10時25分 けんり
総行動主催

6月28日

全国一斉宣伝行動

15時〜16時福岡空港

18時〜19時新宿駅南口、
品川駅港南口、池袋駅東
口、錦糸町駅北口、立川
駅北口、天神ソラリア前、
小倉駅

18時30分〜19時30分有楽
町マリオン前、大阪なん
ば高島屋前

7月11日 17時〜18時

JAL本社前宣伝行動

7月18日 京都宣伝行動

7月29日 全国一斉宣伝行
動(東京)

7月30日 福岡宣伝行動

15時〜16時福岡空港、
18時〜19時博多駅筑紫口、
天神、小倉駅